

ちいきの大学



21号

Contents

- 愛知教育大学2023年度トピックス
- 地域連携センターの主な活動
- 学校教育支援部門の活動
- 企業連携部門の活動
- 地域活性化部門の活動
- 学生の地域での活動
- 2024(令和6)年度 愛知教育大学一般対象公開講座 開設一覧

愛知教育大学 2023年度トピックス

愛知教育大学 創基150周年記念式典

愛知教育大学は1873年に本学の前身である「愛知県養成学校」が設置されてから、本年、150年の節目を迎えました。これを記念し、11月19日(日)午前10時から、創基150周年記念式典および記念講演会を本学講堂にて挙行了しました。

式典に引き続き、本学の卒業生で、森美術館 館長、国立アートリサーチセンター センター長 片岡真実氏による「世界を学び続ける」と題した記念講演会が行われ、午後は、本学附属学校6校、本学管弦楽団OBが150年目にして初めて一堂に会し、「創基150周年記念音楽会」を開催しました。



音楽会のフィナーレは野田学長の指揮による客席も一体となった全員合唱で締めくくられました。観客からは「とても素敵な心温まるアットホームな音楽会であった」との声も聞かれ、充実した記念式典となりました。



連携協定締結

今年度、本学は3つの地方自治体、1つの企業、3つの大学と各種の連携に関する協定を締結しました。愛知県を超えての連携協定も多く、本学は今後もより一層、各分野への連携協力を図ってまいります。

● 2023年度締結先一覧(2024.1時点)

岐阜県本巣郡北方町、岐阜県各務原市教育委員会、三重県三重郡川越町、株式会社ベネッセコーポレーション、大阪教育大学、東海学園大学、中部学院大学



地域連携センターの主な活動

地域連携フォーラム2023

1月27日(土)に刈谷市総合文化センターで「地域連携フォーラム2023」を開催しました。

本フォーラムは、「未来をともに創る 私たちのSDGs」をテーマに、刈谷市内の6中学校(刈谷南中学校、刈谷東中学校、富士松中学校、雁が音中学校、依佐美中学校、朝日中学校)と、刈谷高等学校、愛知教育大学附属高等学校、愛知教育大学学生団体SAGAを招き、中学校、高等学校、大学など、各所をつなぐ催しを目指しました。



前半は、参加団体のうち4団体から、主にSDGsに関する取り組みの実践発表があり、後半は、中学生5人、高校生2人、SAGAから1人の合計8人を1グループとして、3つのテーマを討議しました。普段、言葉を交わしあう機会の少ない集まりでの討議でしたが、とても活発に議論が交わされ、中学生、高校生、大学生の垣根なく意見が飛び交いました。

フォーラムの閉会後には、助言者としてお招きしていた、角文株式会社の鈴木文三郎代表取締役社長に、直接質問をぶつける高校生の様子も見られ、目的であった、つなぐことをまさに達成できた有意義なフォーラムになりました。



医教連携フォーラム2023

12月25日(月)、「医教連携フォーラム2023」を愛知教育大学・藤田医科大学が共同で開催しました。このフォーラムは「医教連携によって開発した食物アレルギー等緊急時対応プログラムの実践—そなえる&ふせぐ 安心な学校づくり—」をテーマに実施するもので、愛知県内外から養護教諭らの現職教員を中心に49人の参加がありました。



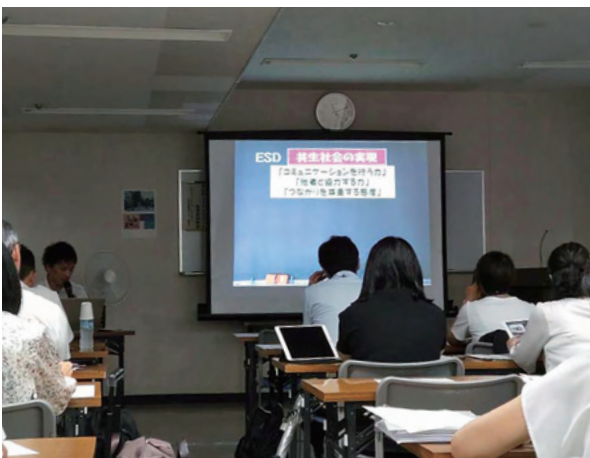
フォーラムでは「実技トレーニングデモンストラーション」として、本物と同様に針が出る注射器と小学生の筋肉の弾力を持つマネキン人形によるシミュレータを用いて、アナフィラキシーが起こった場合にエピペンを注射する実技トレーニングを実施しました。藤田医科大学地域連携教育推進センターの石原慎教授から「失敗しても成功する打ち方(注:失敗しても挽回できる打ち方)」の解説を受けた参加者は全員がシミュレータによる注射を体験し、「有事の際の対応の具体がイメージできた」「実際に打つ様子をみてアドバイスをもらったので自信がついた」「校内研修の方法を再考したいと思った」などの感想が寄せられ、有意義なフォーラムとなりました。



学校教育支援部門の活動

愛知県ユネスコスクール指導者研修会

8月21日(月)に愛知県生涯学習推進センターで「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」を開催しました。本学は「ユネスコスクール学校間支援ネットワーク」に加盟し、県内のユネスコスクールを支援する支援校として活動しています。本研修会は愛知県内外のユネスコスクール先進校による実践活動の報告や情報交換を通じ、ユネスコスクール間のネットワーク作りを支援するため、また未加盟校へのESD活動の取り組みのきっかけづくりをしていただくために毎年開催しており、今年度は5校の実践発表がありました。



大鹿地域連携センター長は閉会のあいさつで、「今回発表した学校も初めからすごいことをしていたわけではない。ESDをすると子どもの顔つきが明るく変わる。そのような子どもたちの成長を楽しむことが教員の楽しみであり、その何気ない活動が発表につながっている。会場の皆さんも次回はぜひ発表者側で参加してほしい」と総括しました。



愛知県立豊橋南高等学校教育コースの個人研究中間発表会

6月3日(土)豊橋南高等学校教育コース3年生30人が本学を訪問し、個人課題研究中間発表会を行いました。愛知県教育委員会との相互連携協定に基づき、県立高校教育コースの教育活動への協力を行っており、この発表会は今年で4回目になります。本学からは大鹿地域連携センター長をはじめ、6人の地域連携センター担当教員がアドバイザーとして参加しました。



発表会では、各グループでの活発な議論の様子や、時には雑談を交えてあちこちから笑い声が起る様子が見られました。各自が研究を進める中で疑問に思っていたこと、悩んでいたことなどを相談する場でもあり、それぞれが積極的に、真剣に発言する様子も見られるなど、充実した発表会となりました。



公開講座 「新聞切り抜きで育てる探究心」

8月8日(火)、相互連携に関する協定を締結している中日新聞社の協力により、「新聞切り抜きで育てる探究心」の公開講座を実施し、県内外から現職教員8人が受講しました。

この講座は、外国にルーツのある子どもも楽しく取り組み、読解力・思考力を育てる新聞切り抜き作品づくりを体験しようというもので、はじめに、外国にルーツのある子どもたちが実際に作成した新聞切り抜き作品の紹介がありました。



受講生たちはそれぞれ①テーマ決め、②記事集め、③分類、④レイアウト、⑤見出し決め、⑥コメント、⑦まとめの順に、佐野恵子氏(中日新聞NIEコーディネーター)の助言を受けながら1人1作品作りに取り組みました。作品は模造紙半分サイズで約2時間かけて出来上がりました。

最後に、完成した作品を皆で鑑賞し、「花火のレイアウトが面白いですね」、「子どもたちの興味を引きますね」と意見を述べ合いました。



角文株式会社による環境活動 「川の環境学習」への活動支援

6月6日(火)に、角文株式会社による小学校への環境活動「川の環境学習」が刈谷市立富士松南小学校4年生の児童を対象に実施され、本学で理科を専攻する学部生、大学院生が活動支援を行いました。当日は涼しくて過ごしやすく、富士松南小学校4年生児童100人以上に対して、角文株式会社のスタッフ約15人、本学から4人が川の活動に参加しました。



活動場所は、刈谷市泉田町(刈谷市総合運動公園)横の逢妻川で、川の流速、にごり、透明度、pHなどの調査を行った後、実際に川に入って川の生き物調査や川のごみ拾いを行いました。ハゼ、ペンケイガニなどの生き物が採集できた一方、空き缶や空き瓶、靴、タイヤなど大量のゴミが収集され、表面上きれいな川にこれほどまでのゴミが見つかったことに多くの児童が驚いていました。「このような川のゴミを減らすために、どうしたらよいか考えてみよう」と呼び掛け、活動は終わりました。



第41回井ヶ谷町内大運動会

10月15日(日)、本学の第一体育館で「令和5年度第41回井ヶ谷町内大運動会」が実施されました。本学は災害時の指定避難所になっており、この運動会は防災運動会として実施されています。本学施設での開催は昨年度からですが、今年は悪天候のため、井ヶ谷町初の試みとなる体育館での実施となりました。



運動会にはたくさんの町民が参加されたため、体育館が少々手狭でしたが、「親子で防災風呂敷」や「空き缶つりで防災水ゲット」など工夫を凝らした種目で盛り上がりました。

学生たちはラジオ体操の実施や、競技の準備など一生懸命運営のお手伝いをしていました。運動会を締めくくる最後の盆踊りでは学生も輪に入り、井ヶ谷町の皆さんと一緒に踊りました。雨天でグラウンドが使えないことによる体育館での実施でしたが、町民の皆さんの笑顔が絶えない大成功の運動会となりました。



公開講座「《お菓子》のペン画を親子で楽しく描いてみましょう」

6月25日(日)、一般向け公開講座「『お菓子』のペン画を親子で楽しく描いてみましょう」を開催しました。本講座は、以前から評判の講座であり、小中学生11人とその保護者等が楽しく参加しました。

はじめに、講師の松本昭彦特別教授から、上手にお菓子を描くポイントの説明がありました。外側から描かずに真ん中から描きましょうという言葉には、参加者は皆、これまでの常識を覆されたかの如く「えーっ」と驚いた声をあげました。

講師が黒板に手本を描く姿を参考にしつつ、参加者はお菓子をよく観察し、より立体的に描けるよう一つ一つ丁寧にペン画を描きました。ペン画の仕上げには、より美味しそうにそしてより可愛く見せるコツとして魔法の粉も描いたのちに、構図を決めて作品は完成となりました。



スペースAqualにて小学生向けワークショップ

8月8日(火)、本学図画工作・美術専修の学部3年生5人が、スペースAqualにて「段ボールでフォトフレームをつくろう」のワークショップを実施しました。このワークショップは、刈谷市中心市街地活性化のための連携・協力に関する協定に基づき例年実施しているもので、刈谷駅前商店街振興組合と協力して行っています。夏休みに6講座を計画し、第一回目となるこの日は、小学校1年生から5年生までの12人が参加しました。



—— 学生の地域での活動 ——

SAGA出前授業

本学のAUEパートナーシップ団体「学生団体SAGA(サーガ)」が、西三河の小学校にSDGs教材を提供する目的で、2023年3月20日(月)～5月18日(木)の間にクラウドファンディング「小学生にSDGsを楽しく学べるカード教材を提供したい!」を実施し、多くの方々の支援を得て目標を達成することができました。SDGs教材「バイオミクリー・トランプ」が完成し、豊田市、刈谷市、岡崎市の小学校で贈呈式と、教材を使った模擬授業を実施しました。



刈谷市の富士松東小学校では、4年生が総合的な学習の時間でSDGsについて学んでいるということで、4年生を対象にSAGAの学生による出前授業を実施しました。SDGs神経衰弱やババ抜きでは、学生から「そのカードのペアはさっき見た気がするな」といったヒントを得ながら、子どもたちは思わず全身を乗り出して大盛り上がりでした。楽しく遊んだ後には、バイオミクリークイズで学んだことを振り返りました。



なお、今回贈呈されたバイオミクリー・トランプは以下のリンク先ページよりダウンロードが可能です。

(https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/action/sdgs_kyozai.html)



アサヒ飲料株式会社による SDGs将来世代創造フォーラム2023

8月23日(水)に名古屋市中企業振興会館 吹上ホールで行われたアサヒ飲料株式会社中部北陸支社主催の「SDGs将来世代創造フォーラム2023」に本学学生と愛知教育大学附属高等学校サステナ部が参加しました。

本学のブースでは、学生団体SAGAが「バイオミクリー・トランプ」や「生態系8並べ」など小学生から大人まで幅広い世代の方々にSDGsを分かりやすく理解していただけるような教材の説明をし、附属高等学校サステナ部のブースでは、生徒たちが行うSDGsに向けた取り組みをポスターや教材等の作成物も掲示して紹介されました。



参加した学生からは、「さまざまな方面の方々と交流でき、学びもあり大変刺激的だった」「さまざまな団体の取り組みを見られて勉強になった」などの感想があり、産官学の連携についてや、今後どのようなことができるかを考えられる貴重な一日となりました。



刈谷あきんどマルシェにて 手芸サークルCRAFTが出展

12月10日(日)、刈谷青果地方卸売市場で開催された「刈谷あきんどマルシェ」に手芸サークルCRAFTが出展をしました。

CRAFTの学生は、レジンや毛糸などの材料を用い作成したオリジナルのアクセサリーを販売しました。マルシェに訪れたお客さんは気に入るアイテムを手に取り、購入しました。お気に入りのアイテムをゲットして早速身に付ける子どもに、学生たちは笑顔で接客をしました。



愛知教育大学の学生たちは地域活性化にも積極的で、マルシェは毎月第2日曜日に開催され、学生たちも引き続き出展します。お近くへお越しの際は頑張っている学生の応援をよろしくお願いします。



愛教ちゃん

エディ

株式会社アイワットによる ASOB!TREE

12月9日(土)、AUEパートナーシップ団体「天文愛好会CORE」がプライムツリー赤池で開催された『ASOB!TREE』において、「宇宙を楽しもう!!!」と題し、子ども向けワークショップを実施しました。



ワークショップでは、「星座早見盤」や、宇宙飛行士の試験にも使われた「ミルクパズル」に親子が挑戦しました。「星座早見盤」の作業前には、学生は「右利きかな？左利きかな？」と優しく声を掛け、ハサミを用意するなど円滑に作業ができるよう配慮していました。また、真っ白なピースだけの「ミルクパズル」では子どもたちが苦戦し、バトンタッチで途中から母親が挑戦する姿を子どもと学生で一緒に応援するなど微笑ましい光景も見受けられました。子どもたちは、ショッピングの合間にワークショップに参加でき、とても楽しんでいる様子でした。



2024(令和6)年度 愛知教育大学一般対象公開講座 開設一覧

講座名		開催日
刈谷市	身のまわりのもので遊びを創ろう	8月2日(金)
	清須会議後の織田体制と徳川家康	9月14日(土)
	日本の食文化を見直そう! 炊飯器で、おもちづくり	9月23日(月)
知立市	現代アメリカを読む ～文学作品を通して考える多様性のあり方～	8月3日(土)
豊明市	身近なところからはじめるSDGs	6月15日(土)
	micro:bitの無線通信で遊ぼう!	12月21日(土)
安城市	ホームステイや外国人と初めて会話するときに役立つ英会話	7月25日(木)
	マイクラでプログラミングして遊ぼう	8月17日(土)
碧南市	オープン粘土で鬼瓦をつくろう オープン粘土で新しい年を迎える縁起物(招き猫・干支など)をつくろう	8月7日(水) 12月8日(日)
	ICT支援員と学ぶプログラミング超入門 ブロックで実物を作り動かそう	8月20日(火)
高浜市	暗号と数当てマジック ー暗号を作ろうー	8月3日(土)
みよし市	点つなぎで学ぶ数学	7月31日(水)
	がん予防について考えてみよう	8月10日(土)
	心理学実験を体験してみよう ー人間の記憶・認知の不思議ー	8月20日(火)
名古屋市	日常生活の身近な科学のひみつ	8月5日(月)
	「親子で作ろう!夏休みニュース新聞」	8月6日(火)
愛知県生涯学習センター	ジェンダーについての無意識の思いこみについて考える	7月7日(日)

詳細は本学ホームページ(下記URL)にてご確認ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/lecture.html>



教員派遣・講師派遣

地域連携センターでは、講演会・研修会等の講師や研究会での指導・助言者、各種審議会の委員など、相談や要望に合わせ、各種講師派遣を行っています。

詳しくは、本学HP(下記URL)をご参照ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/instructor.html>



高校訪問授業

高等学校と大学との連携の一つの形として、大学で実際に行われている講義・授業等を身近に体験することで、高校生の大学に対する理解を深め、進学意欲を高めることを目的に高校訪問授業を実施しています。

高校訪問授業の実施や申込等については、本学HP(下記URL)をご参照ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/sham.html>

